

地元で消費拡大
学校給食にA5ランクの秋田牛



ブランド牛、秋田牛を使った給食が秋田市の小中学校で提供され、児童生徒が最高級のA5ランクの秋田牛を味わいました。

17日は秋田市の6つの小中学校の給食に秋田牛が登場しました。雄和小学校の献立は牛丼です。

秋田牛のブランド力をアップさせようと、県や生産者などの団体は小中学校で秋田牛の特徴や育て方の特別講座を開くとともに、給食の食材に秋田牛を提供しています。

17日の牛丼に使われたのは、県内の品評会で最優秀賞に輝くなど高い評価を受ける秋田市の寿牧場が育てた最高級A5ランクの秋田牛です。

児童たちはやわらかく、うま味たっぷりの秋田牛の味を楽しみました。

県や生産者で作る団体は、地元での消費拡大から全国へと広め、ブランド力を育てていきたい考えです。(ABS秋田放送 令和5年1月18日(水)ネットニュースより一部抜粋)

<https://www.akita-abs.co.jp/nmn/news93hsqqxva5h2pu3g9u.html>